

1 現状と課題

①施設の老朽化

120haを超える広大な敷地に多くの公園施設が点在している。
→多くの施設が更新時期を過ぎており、適正な更新が必要となっている。

②外来生物

40万トンにおよぶ湧水により豊かな自然環境を形成し、多くの希少な野生動植物が生息している。
→オオクチバスやボタヌキクサなどの外来種の影響により、江津湖本来の自然環境が変化し、生物多様性の劣化が進んでいる。

③公園利活用

これまでの公園行政は「公園を守る」という視点に重点を置いてきたことから、必ずしも市民のニーズを満たしてきたとは言えない。
→「いかに公園を使いこなすか」といった視点が重要となっている。

④動植物園

昭和44年に現在地へ移転してから順次施設の整備を行い、現在、約24.5haの敷地に84棟の建築物を有している。
→2029年に開園100周年を迎えることから、今後の施設整備や運営についての計画を策定する必要がある。

⑤公園行政を取り巻く変化（都市公園法の改正（2017年6月施行））

都市公園の再生・活性化の推進のための法改正

～「量の整備するステージ」から「公園の多機能性を最大限に発揮するステージ」へ～

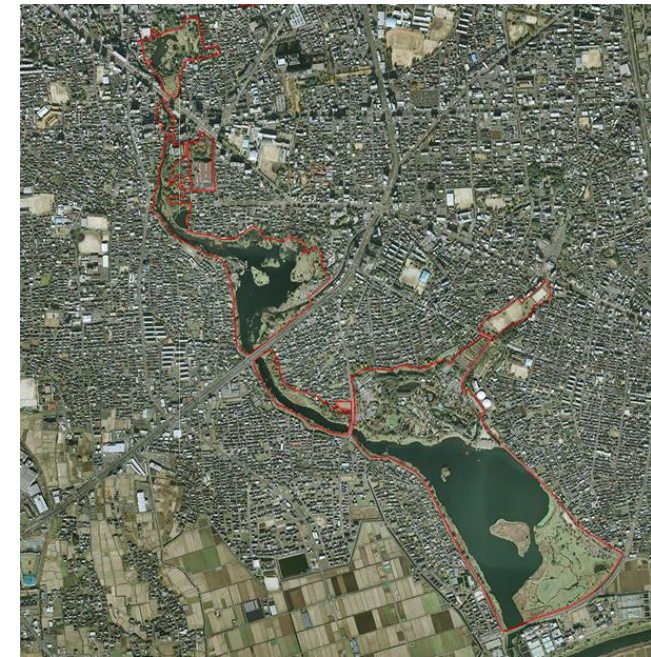
→①ストック効果の向上 ②民間との連携の加速 ③公園を柔軟に使いこなす

（主な改正内容）民間事業者による公共還元型の収益施設の設置管理制度（P-PFI）

2-1 計画の概要（対象区域・期間・基本理念）

（1）計画の対象区域

対象区域は、水前寺地区、出水地区、上江津地区、中江津湖地区、下江津地区、庄口地区、広木地区の7地区（計126.9ha）を本計画の対象区域（図中赤枠で示す区域）とする。



（2）計画期間

計画の目標年次は、2039年度とします。

→短期（～緑化フェア（2021年度））、中期（2029年度）、長期（2039年度）

（3）基本理念

生物多様性の保全とともに、江津湖の持つポテンシャルを最大限に発揮し、人にとっても生きものにとっても、上質な公園空間の創出を実現する。

基本理念に基づき、「自然環境・歴史文化資源の保全」と「利活用」の両面からの基本方針を定める。

2-1 計画の概要（基本方針）

基本方針① 豊かな水環境の保全

- 熊本が誇る豊富で清冽な地下水を将来にわたって保全する（地下水量）
- 熊本市民の飲料水である地下水の安全性を確保する（地下水質）
- 地下水を育む上流域とのつながりや連携を深めることで、“水”の大切さを理解する

基本方針② 生物多様性の保全

- 江津湖が誇る豊かな自然環境と多様な生きもの（生物多様性）を保全する
- 江津湖の生態系を脅かす外来生物の適切な駆除と防除を推進する
- 自然と人との共存・共生を図る

基本方針③ 歴史・文化の継承と活用

- 歴史・文化資源の適正な保存とともに、資源を活かした魅力ある環境を整備する
- 歴史・文化資源を活かしたストーリーづくりにより、各地区の連続性と一体性を向上させる
- 散策ルートの設定と活用による、歴史・文化を学べるしくみを整備する

基本方針④ 感じ・憩い・学び・発信する場としくみの整備

- 自然環境や歴史・文化資源に関する情報を集積することで、効果的な事業展開につなげる
- 関連団体や学校教育と連携した体験型プログラムなどの展開により、江津湖の自然を感じ、学ぶ機会を創出する
- 貴重な資源を次世代へ継承する担い手を育成する

基本方針① 「魅力」と「質」の向上

- 恵まれた自然環境（水辺、花緑、動植物など）を活かした公園空間を創出する
- 地域資源（美しい景観、歴史、文化）の顕在化を図る
- 「利用者ニーズにあった公園運営」への転換を図る
- 観光客にアピールできる個性に磨きをかける

基本方針② 適切な公園経営・資産運用

- 面積126haを有する江津湖公園を資産と捉え、資産ストック効果をより高める
- 江津湖公園の持つポテンシャルを柔軟な発想で引き出す
- 民間との連携の加速による公園の魅力向上を図る
- 民間活力を発揮、引き出しやすい環境を整備する（ガイドライン）
- 得られる収益を、維持管理費用、新たな魅力向上事業など、来園者のサービス向上につなげる

基本方針③ 運営手法と担い手づくり

- 公園キャストの発掘、働きかけと、キャストネットワークを拡大する
- 地域のエリアマネジメント組織による公園運営へシフトする
- 市民・事業者・行政が連携（知恵を絞り）し、公園の利用幅を拡大する

2-2 計画推進のための施策（自然環境・歴史的・文化的資源の保全）

基本方針

取組み項目

施策事業（一部抜粋）

① 豊かな水環境の保全

- ①-1 長期的な地下水かん養対策
- ①-2 水質の保全・改善
- ①-3 流域のつながり（水循環）
- ①-4 地下水のPR



（間伐材を活用したベンチ）
新規事業



（水源かん養林整備事業）
継続事業



（水田湛水事業）
継続事業

② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生

- ②-1 自然環境の現状把握
- ②-2 自然環境の保全・再生
- ②-3 外来生物の駆除（手法の検討）
- ②-4 自然と人との共存・共生・配慮のあり方（ゾーニング）



（生物調査（モニタリング））
拡充事業



（駆除計画の作成）
新規事業



（外来生物の食品化）
新規事業

③ 歴史・文化の継承と活用

- ③-1 歴史的・文化的資源の保存と活用
- ③-2 連続性・一体性の創出
- ③-3 散策ルートの設定と活用



（庭園文化の発信）
新規事業



（観光ルート（文学碑））
新規事業

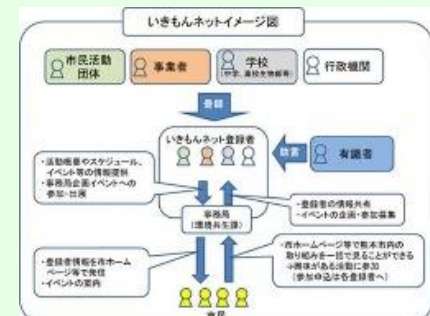


④ 感じ・憩い・学び・発信する場としくみの整備

- ④-1 情報の集積
- ④-2 魅力・価値の発信
- ④-3 環境教育、体験型プログラムの整備
- ④-4 担い手づくり 次世代への継承



（ビジターセンターの設置）
※自然環境の情報の案内展示・公園の利用案内
新規事業



（担い手づくり（自然・文化））
拡充事業

2-3 計画推進のための施策（公園の利活用）

基本方針

取組み項目

施策事業（一部抜粋）

①「魅力」と「質」の向上

①-1 魅力の発掘

①-2 健康プログラムの展開

①-3 園内の回遊性向上

①-4 子ども等の遊び場整備

①-5 職場空間としての活用

①-6 動植物園との一体的な整備

①-7 施設の整備

①-8 情報の発信



（魅力の発掘（バーベキュー・グランピング））
新規事業



（公園を核とした健康づくり）
拡充事業



（ちびっこプール・ゾウさんプールの再整備）
新規事業



（駐車場の拡充）
新規事業



（一体的な整備（カフェ等））
新規事業



（一体的な整備（施設デザイン））
新規事業



②適切な 公園経営・資産運用

②-1 民間活力の導入

②-2 マーケティングによるブランド化

②-3 防災・減災機能の強化



（カフェ等の設置）
新規事業



（施設改修（ネーミングライツ））
新規事業



（ブランド化）
新規事業

③運営手法と 担い手づくり

③-1 人材育成・担い手づくり

③-2 エリアマネジメントの導入

③-3 効果的な事業展開・事業検証



（エリアマネジメントの導入）
新規事業



（イベントガイドラインの導入）
新規事業

2-4 管理・運営

①管理・運営においても、民間活力を発揮、引き出しやすい環境を構築し、得られる収益を、維持管理費用・新たな魅力向上事業など、来園者のサービス向上につなげていく。

②地域住民、事業者、関連団体等が主体となった公園運営（エリアマネジメント）へのシフトを進めていく。

2-5 民間活力の導入（マーケットサウンディング結果（2018年8～10月、提案企業7社））

■マーケットサウンディングの目的

水前寺江津湖公園（動植物園含む）を対象とした市場性の有無の把握（ハード面、ソフト面）

■マーケットサウンディングの結果

対象施設	提案内容
水前寺江津湖公園	①広木地区における体験型施設等（バーベキュー、グランピング）の設置【民設民営】 ②自然や地域性を活かしたイベントの企画運営【民営】 ③イベント後のベンチの寄贈【民設】
動植物園	①カフェやレストランの整備【民設民営、公設民営】+ 正門・西門・南門の改修【民設】 ②遊具の設置（アドベンチャーパーク、ジップライン、木製遊具等）【民設民営】 ③全天候型の屋内キッズスペースの整備【民設民営】 ④エネルギーの再資源化施設の整備【民設民営】 ⑤駐車場の複層化による低層階への店舗の設置【民設民営】 ⑥多言語対応看板の設置【民設民営】動植物園
事業手法	Park-PFI（公募設置管理制度）やPMO（指定管理者制度）、PPP（官民連携事業）など

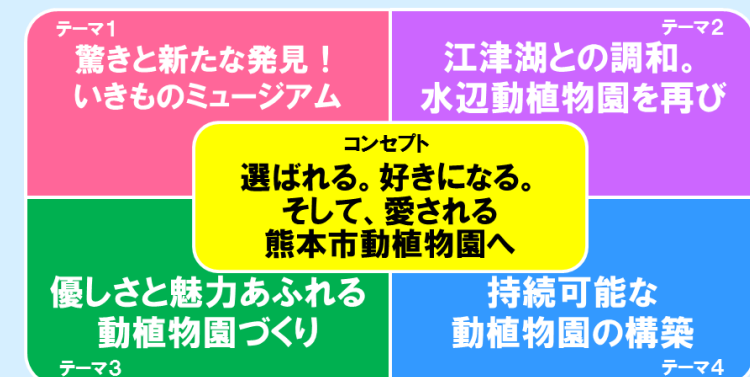
→来年度、改めてマーケットサウンディング（公募条件の整理）を行い、2019年度中の事業者公募を予定

関連計画 動植物園マスタープラン

コンセプトとテーマ

**「選ばれる。好きになる。」
そして、愛される熊本市動植物園へ」**

動植物園は、今後集客性の向上や施設の活性化を図るために、園全体の再編整備を行い、新たな魅力を創出していくことが必要であると考え、江津湖畔の自然環境と調和のとれた快適で魅力的な動植物園を目指します。



施策事業例（一部抜粋）



（動植物園開園100周年に向けた整備計画）
新規事業



（老朽化施設の改修）
拡充事業



（学習プログラムの整備）
拡充事業



（新たな遊戯施設の導入）
新規事業